



お知らせ

記者発表資料	平成30年 5月29日
配布日時	14:00

【同時発表先】合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会 平成30年度総会の開催 ～瀬戸内海の魅力を磨くには～

平成30年6月1日（金）愛媛県宇和島市において「瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会（通称：海ネット）会長：尾花 正啓（和歌山市長）」（別紙1参照）は、平成30年度総会及び第12回瀬戸内海首長サミットを開催します。

瀬戸内海では独自の魅力、特色を活かした独自のクルーズ振興を図り、瀬戸内海がブランド力の高いクルーズの海となることを目指した取組みを進めており、今回、ホーランド・アメリカ・グループ アジア・ポート・オペレーション・ディレクター 市川 紗恵 氏を招いてクルーズに関連した講演をしていただきます。

第12回瀬戸内海首長サミットでは、「瀬戸内海の魅力を磨くには」をテーマに参加首長が議論を行います。

○日 時 平成30年6月1日（金）15:00～18:40

○場 所 サブライムホール宇和島（ニュー兵頭）
（宇和島市丸之内3-6-20 TEL 0895-23-8888）

○プログラム

【開 会】15:00～15:20

・開会挨拶 ・来賓挨拶 ・歓迎挨拶

【第1部】15:20～16:30

・平成30年度総会 平成30年度事業計画（案）・予算（案）等
・講演「世界のクルーズ動向と日本に求められる上質な観光ツアー」

講師：ホーランド・アメリカ・グループ

アジア・ポート・オペレーション・ディレクター 市川 紗恵 氏

【第2部】16:40～18:40

・第12回瀬戸内海首長サミット
テーマ「瀬戸内海の魅力を磨くには」（別紙2参照）

※当日、会場には報道者席を用意しておりますので、受付にお申し出ください。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
TEL：082-511-3928（直通）：（平日・昼間）

室長 ^{つだ} 津田 ^{ゆきお} 行男 課長補佐 ^{にはら} 二原 ^{かずのり} 和教

<広報担当窓口>

中国地方整備局 港湾空港部 TEL：082-511-3905（直通）（平日・昼間）

計画企画官 ^{こんどう} 近藤 ^{たくや} 拓也



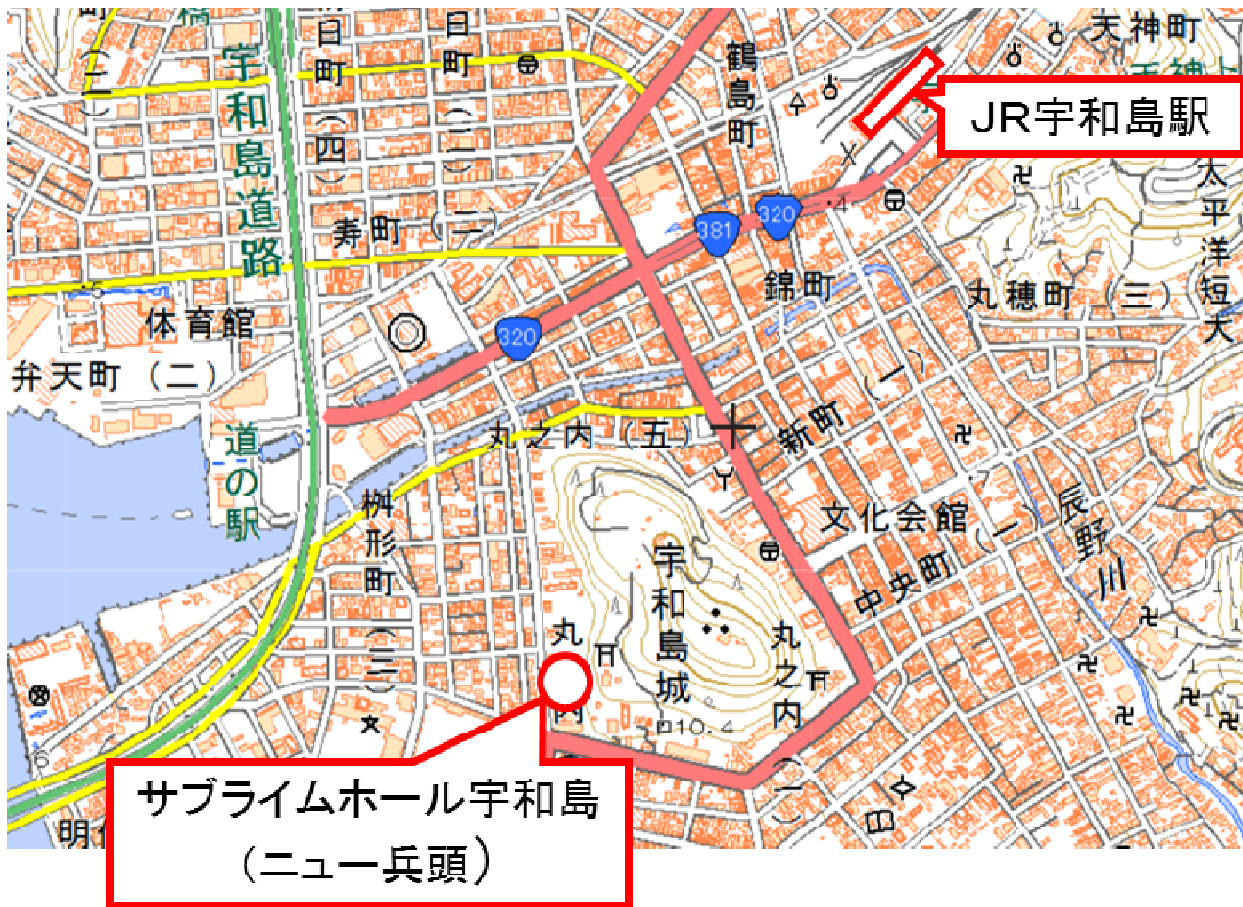
国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

○会場案内図

■ 位置図



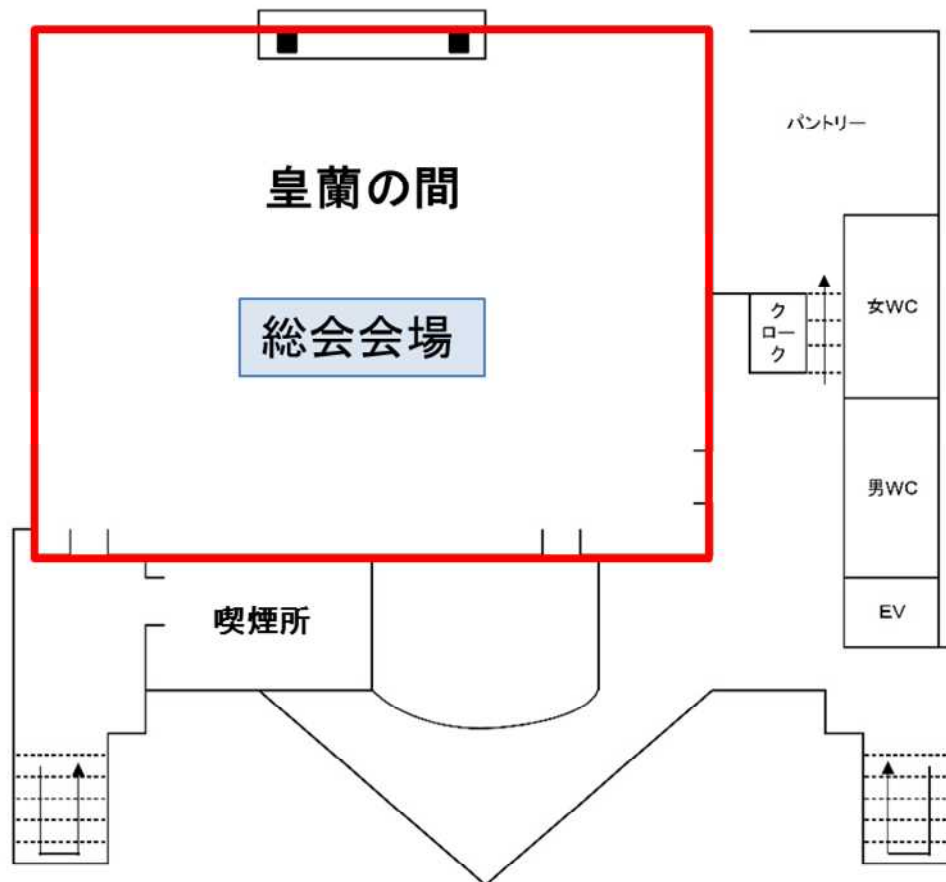
■ 会場までのアクセス

【ＪＲをご利用の場合】

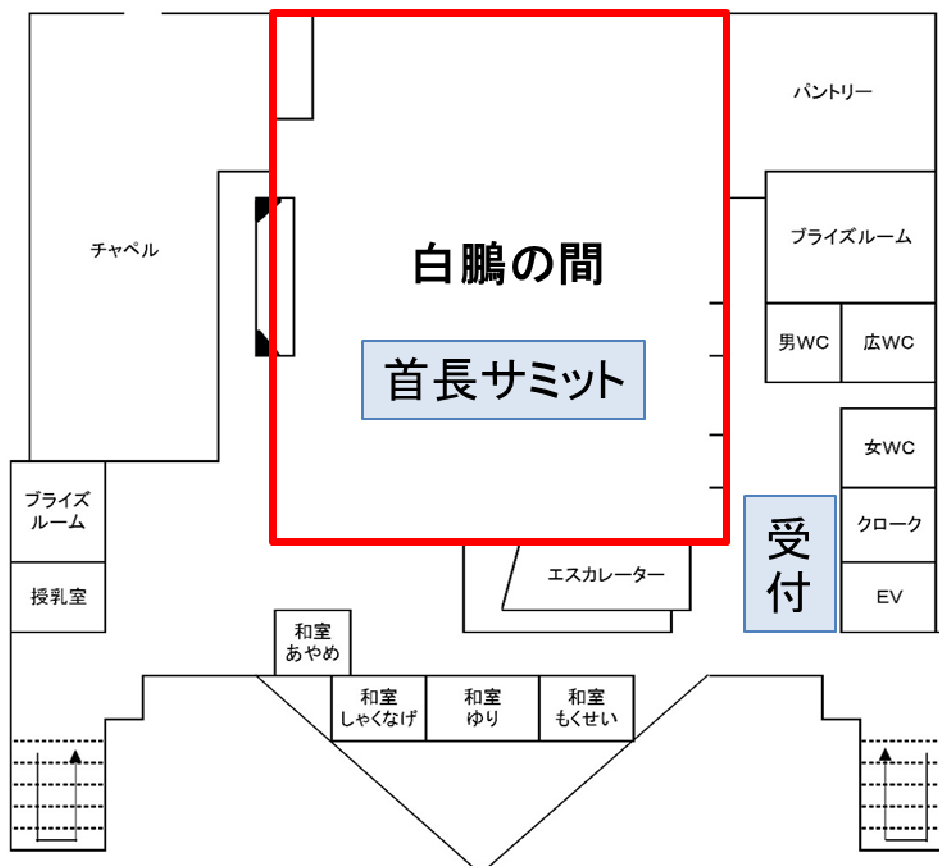
予讃線「宇和島駅」より車で５分

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 総会、首長サミット会場

3F



2F



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(通称:海ネット)

海ネットとは

別紙1

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(通称:海ネット)は平成3年5月に設立され、瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、瀬戸内海の多様な資源を活かした人の流れを創り出し、**防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的**としている。

海ネットの活動指針

- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「**海の路の構築**」、並びに地震津波に対応した**防災ネットワークの整備**
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における**瀬戸内の魅力発信**
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の**瀬戸内海の環境創造**

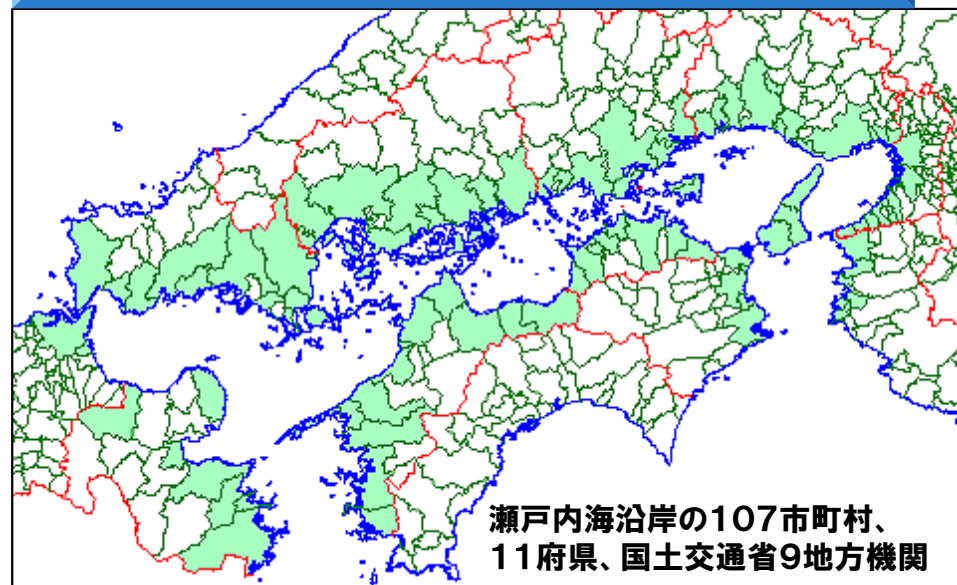
歴代会長

平成 3年～ 6年:姫路市長(戸谷 松司)
平成 7年～10年:坂出市長(松浦 稔明)
平成11年～14年:小松島市長(西川 政善)
平成15年～18年:玉野市長(山根 敬則→黒田 晋)
平成19年～20年:下関市長(江島 潔→中尾 友昭)
平成21年～26年:大竹市長(入山 欣郎)
平成27年～ :和歌山市長(尾花 正啓)※敬称略



海ネットのシンボルマーク

海ネット会員(127会員:平成30年6月1日現在)



瀬戸内海沿岸の107市町村、
11府県、国土交通省9地方機関

協議会の実施機関となる「実行委員会」

環境事業委員会

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉とした「リフレッシュ瀬戸内」や、ゴミの組成調査「海の健康診断」等を実施し、環境美化活動へ活用するため、関連する調査結果を内外へアピールする。

魅力検討委員会

「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」により会員支援を実施。また、「瀬戸内」をキーワードとした取り組みについて積極的に連携等を図り、瀬戸内の魅力を発信する。

情報発信委員会

海ネット活動の成果などの情報発信を行うとともに、他の実行委員会と連携することで、より多くの人々に瀬戸内の魅力を認識していただき、興味をもってもらえるような情報を発信していく。

防災委員会

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」における締結拡大を図るとともに、協定運営協議会との情報交換等により、本協定の実効性の確保に向けた検討を行っていく。

【第2部】第12回 瀬戸内海首長サミット

日 時 平成30年6月1日（金） 16:40～18:40

テーマ 「瀬戸内海の魅力を磨くには」

<内 容>

「明日の日本を支える観光ビジョン」（2016年3月30日）に掲げられた目標である「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」という新たな目標に対し、昨年の訪日クルーズ旅客数は前年比27.2%増の253.3万人、クルーズ船の寄港回数は前年比37.1%増の2,765回となり、いずれも過去最高となりました。

また、当観光ビジョンのなかでは、瀬戸内海など新たな国内クルーズ周遊ルートの開拓、ラグジュアリークルーズ船の就航が述べられています。

瀬戸内海は、大小さまざまな島と静穏な海が織りなす美しい景観、歴史、文化など多様な地域資源があり、非常に魅力的な地域です。このような瀬戸内の魅力ある地域資源を活かしたクルーズ文化を確立していくことにより、交流人口増加等による地域経済の発展、またクルーズ船が寄港することにより国内外へ地域の魅力が発信され、地域の魅力の再発見にもつながると考えます。一方、訪日外国人旅行者の意向調査によれば、日本の観光地のイメージとしての「島々の風景」は、一部の国では認知度が高いものの、多くの国では認知度が低い状況です。これは、瀬戸内海の情報発信の不足、認知度を高めていくことの必要性が示唆されています。

昨年の第11回首長サミットでは、瀬戸内クルーズ振興とその魅力を発信するためのブランド化を目指すには、どのような取組を進めていけばよいか活発な議論を交わしました。

第12回首長サミットでは、「瀬戸内海の魅力を磨くには」と題して、瀬戸内の豊富な地域資源のブランド化のため、訪日外国人のまなざし（目線）で新たな瀬戸内の観光資源の発掘にはどのようなことが必要か、瀬戸内各地域のそこにしかない観光資源となり得るモノ、コトの磨き上げには何に留意することが必要か、などについて活発な議論を交わしていただきます。

<参考>

瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会
平成30年度総会参加予定首長（21名）

（敬称略）

大阪府	高石市	さかぐち 阪口	しんろく 伸六
	岬 町	たしろ 田代	たかし 堯
兵庫県	南あわじ市	もりもと 守本	かずひろ 憲弘
和歌山県	湯浅町	うえやま 上山	あきよし 章善
岡山県	玉野市	くろだ 黒田	すすむ 晋
	瀬戸内市	たけひさ 武久	あきなり 顕也
広島県	竹原市	いま え 今榮	としひこ 敏彦
	坂 町	よしだ 吉田	たかゆき 隆行
山口県	宇部市	く ぼ た 久保田	きみこ 后子
徳島県	松茂町	よしだ 吉田	なおと 直人
香川県	坂出市	あや 綾	ひろし 宏
愛媛県	四国中央市	しのはら 篠原	みのる 実
	西条市	た ま い 玉井	としひさ 敏久
	今治市	かん 菅	りょうじ 良二
	上島町	みやわき 宮脇	かおる 馨
	伊予市	たけち 武智	くにのり 邦典
	八幡浜市	おおしろ 大城	いちろう 一郎
	西予市	かんけ 管家	かずお 一夫
	宇和島市	おかはら 岡原	ふみあき 文彰
	愛南町	しみず 清水	まさふみ 雅文
	福岡県	とおだ 遠田	こういち 孝一